

特別委員会
「部活動の地域連携の在り方」概要

<現状の課題>

少子化による学校の小規模化が進行し、部員不足や専門的な指導力を有した教職員の減少等により、これまでのような体制で部活動を継続していくことが困難。

<長崎市の方向性>

- ①すべての部活動は、休日における地域クラブへの移行を目指す。**(令和9年6月目途)**
- ②単独では部員不足となる部活動は、「地域連携（合同部活動、拠点校部活動）」を進め**(令和8年6月目途)**、その後、地域クラブへの移行を進める。

<地域クラブ活動とは>

地域のスポーツ団体や文化芸術団体や保護者・指導者等の組織などが運営主体を担う活動。学校が運営主体となる学校教育活動ではなく社会教育活動として位置付けられる。ただし、学校との連携が必要なことから、(仮)地域クラブ活動指針（活動時間、休養日等の制限）に沿って活動する。責任の所在は、学校から地域（運営主体）へ移行。

<地域クラブ設立の進め方>

①市が受け入れ可能性のある団体や指導者等の情報を提供する。

②各部活動ごとに、「運営主体」を保護者会が選択する。(選択肢は、民間、指導者、保護者クラブなど)

③指導者を確保できない場合、保護者会が指導者を確保できるよう市が支援。

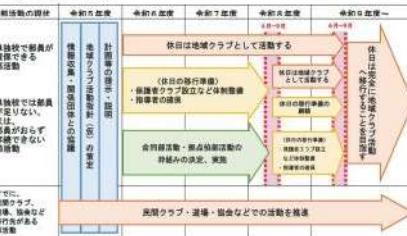
<練習場所の確保や移動等負担の在り方>

①基本的に学校施設を活用し、市の施設利用についての減免措置も今後検討。

②活動場までの移動は、**受益者負担**を基本。

③各部活動の会費については、指導者への謝金等も含め、**受益者負担**を基本。(参考) 現在の部活動会費は、平均月額 2,000 円程度であるが、「運営経費収支シミュレーション」によると、プラス月額 3,500 円程度の試算あり。

<スケジュール>



★長崎市の方向性に対して（見解）

責任所在や会費負担の在り方等を踏まえると、地域クラブの設立が適切に進んでいくのが懸念。スポーツや文化・芸術等に親しみたい子どもたちこそ主役であり、その活動の機会や多様な選択肢を確保すべき。行政・地域・保護者が三位一体となって子供たちに寄り添える「持続可能な部活動の在り方」となるよう、引き続き、本市へ意見提起して参ります。

活動リポート (令和5年10月~)

★10月活動写真

浦上街頭演説、氏子清払い、長崎市民体育祭、新入組合員研修会など

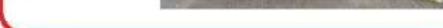


★11月活動写真

会派政策制度要求、中学部活動指導、朝の挨拶運動、ハートセンター文化祭、総括質疑、労組研修会など



★12月活動写真 政党街宣行動、餅つきなど



皆さま、お気軽にご相談を!!

【連絡先】

長崎市議会議員 中山 大

携帯: 080-1731-0097

mail: d.nakayama0319@outlook.jp

【長崎市役所】

長崎県長崎市魚の町4-1 TEL822-8888 (代表)

<https://www.city.nagasaki.lg.jp/>

長崎市議会議員

中山大 市政だより 「魅力溢れる長崎の創造!!」

事務所

長崎市議会議員 中山大事務所

住所: 長崎市平和町 12-6-301

TEL: 080-1731-0097 FAX: 095-864-0707

mail: d.nakayama0319@outlook.jp

市政役職等

教育厚生委員会 副委員長

行政改革審議会 委員

その他

国民民主党長崎県連 常任幹事

大井手町自治会 副会長

第3号
令和6年 1月発行
発行責任者 / 中川大



～ご挨拶～

ご家族お揃いの健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。一方、能登半島大地震による被災地の一日も早い復興を願うと共に被災された方々のご心中を察し、心よりお見舞い申し上げます。さて、今年は長く続いてきたデフレ経済の完全脱却に向けて飛躍の年となることを願いつつ、物価高への対応や人口減少問題など、ありゆる課題に対し幅広く適切な対応が求められます。その上でとても重要なのは「政治への信頼」です。皆さまに信頼される政治家となるよう不断の努力を惜しまず、本市における経済再生・少子化対策を着実に推進し、安全・安心で魅力あふれる長崎の創造に向け取り組む所存です。中山大



写真: 常任委員会 (12月15日)

日々の活動状況を適宜配信しています。お気軽にご登録下さい。

お好みの[SNS]
QRコードをスキャン
して下さい^^



公式 LINE アカウント
(中山大応援隊)



Facebook



インスタグラム

